

# おさんぽマップ

本格的な寒さが到来です。  
花が少ない季節ですが、この時期にしか観察できない冬芽・葉痕を探してみましょう！池周辺の水鳥の観察もおススメです。



**屋外ご利用の皆さまへ**

- ★ 雪遊びは**決められたエリア内**でお楽しみください。
- ★ 雪の下にも植物があります。**園路以外は歩かない**にしましょう。
- ★ **野鳥には触らない**でください。  
異常がありましたら植物園職員・スタッフへお知らせください。

## 冬芽と葉痕

冬芽は春を待つ新しい葉や花が、芽鱗(うろこ状の小片)の中で小さくまとまったもので、冬の寒さや乾燥、動物や虫の食害から身を守っています。芽鱗に包まれていない「裸芽」もあります。

冬芽の近くには葉痕(葉が付いていた痕)が残っていて、植物の種類によって形は様々です。



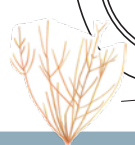
### ①マホニア 'チャリティー' (メギ科)

ヒラギナンテンとマホニア・ロマリイフォリオの交配種。  
和名は「西洋柃南天(セイヨウヒラギナンテン)」。  
30 cm以上伸びた花穂には、鮮やかな黄色い小さな花を多数つけます。



### ②コブクザクラ【子福桜】(バラ科)

秋から冬、または春に開花する二季咲きです。  
八重咲きの花は咲き始めは白く、後に淡い紅色に変わります。一輪の花に対し、複数個結実するため縁起の良い桜とされています。



### ③ミヤマシキミ【深山樺】(ミカン科)

山中に生え、枝葉がシキミに似ていることが名前の由来です。  
葉は長楕円形で厚く光沢があり、ミカン科の特徴である油点が点在します。  
雄株と雌株があり、実をつけるのは雌株だけで、晩秋から冬にかけて実は真っ赤に色づきます。※葉や実には毒性があるのでご注意ください。

